

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松沢求策ライオンプロジェクト
事業主体 (連絡先)	松沢求策ライオンクラブ 安曇野市穂高 4337
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり (3) 教育、文化、スポーツ振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	470,520 円 (うち支援金: 324,000 円)

事業内容

- 1 松沢求策と若松屋(見世蔵づくりの建築)のさらなる啓蒙活動。1年目の事業で作成した「松沢求策オフィシャルサイト」と「松沢求策パンフレット」と「求策資料」を元に旅行会社・出版社・NHKテレビ番組(歴史秘話ヒストリア等)・ラジオ番組などに案内を郵送で送る。
- 2 定期的な松沢求策勉強会と安曇野学講座と初心者向け講座開催の取り組み
- 3 幅広い世代へ松沢求策にまつわる戯曲の上演を安曇野スタイルの期間に合わせて実施し、新たな観光資源としての位置づけのレベルアップを図ると共に、この事業を3年度以降も継続していく足がかりとする。



【 11/5 戯曲上演 】

【目標・ねらい】

- ① 戯曲の上演を通して松沢求策の人となり啓蒙する。
- ② 穂高の人物像を広く全国かた安曇野を訪れる人々に伝える。
- ③ 地元の人たちを対象に地元の歴史を形作ってきた人々をより知ってもらい地元に対する誇りの情勢を図る。
- ④ 啓蒙啓発活動に使えるツール、教材として活用する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1と2について。約90社の旅行関係の業者へ案内パンフレットを送った。その結果ツアー客の中から、自由行動時間の際に立ち寄って講座を受けに来る方たちがおられた。その際には、外観の写真、建物と街道、自由民権と請願権、求策の紹介、求策のお墓まで案内し、帰りに江戸時代の道祖神を案内するというコースを開催した。

3 穂高交流学習センターみらいで、松沢求策の生涯DVDと語りの劇場「わたちの松沢求策」を上演した。大人332名・高校生以下46名計378名の予想を上回る参加者があり、より多くの方へ啓蒙啓発していく足がかりとなった。学校関係から公演依頼をうけている。

※自己評価 【A】

【理由】事業内容を進めていった結果、より多くの方に啓蒙啓発をすることができた。さらに、将来的にも継続して活動できるツールの整備をすることが出来るようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

自由民権、請願運動、請願権、国会開設といった一見難しく感じるテーマをDVD収録したものを(11月5日分)活用することで、誰もが一定の知識をもって啓蒙啓発活動をしやすい教材としてより幅広い世代に伝えていくことに繋げていく。安曇野穂高の地から求策のような人物がたこの地域の土壌を幅広い歴史人物を通してさらなる魅力を発信し続ける取り組みを行う。